



2012-13 年度 R I のテーマ「奉仕を通じて平和を」
 R I 会長 田中 作次 (Peace Through Service)
八戸南ロータリークラブ会報
 例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル



ガバナー 松本 康子 会長 熊谷 道雄 幹事 伊藤 斉 会報委員長 山子 則男
 ホームページ：<http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email：hsrclub@hi-net.ne.jp
 RI 第 2830 地区ホームページ：<http://www.rotary-aomori.org>

第 1828 回例会記録 広報・雑誌・IT 委員会担当例会
 2013 年 4 月 4 日 (木) 点鐘 12：30

レポート NO.1273

1828 回例会要旨

- ・四つのテスト唱和
- ・会長要件
- ・幹事報告
- ・各委員会報告 (出席、親睦)
- ・広報・雑誌・IT 委員会担当例会

会長要件 熊谷会長

いよいよ 4 月に入りました。一般的には年度はじめです。ロータリーは第 4 四半期に突入。執行部一同初心に返って残り 3 ヶ月を、会の運営に当たりたいと思っています。うしろ事務局のとなりに顔なじみの方がいます。今年度で、荒木田さんが辞めるに当たり、元会員石橋忠三郎さんの奥様が 7 月から替わりとなります。3 ヶ月間引継ぎの勉強に顔を出します。よろしくお願ひいたします。

今月は雑誌月間、久保田さんに広報に付いてお話しをしていただきます。先日仕事の関係で市役所観光課へ、「所で蕪島トイレ知っていますか？」と聞いたらすが観光課の皆さん知っていました。他の課はあまりご存知ではないようで、ロータリークラブは一般的に閉鎖的と見られています。各人が行動の中でこんな事をやっていると、蕪島のトイレだけでなく来月の蕪島清掃など、地道にやっている事を事あるごとに提供して行けば、ロータリー活動の啓蒙にもなります。我々が広報マンとしてお知らせをして行きたいと思ひます。久保田委員長よろしくお願ひします。

お祝ひ

本人誕生：平光会員



奥様誕生祝：金田会員、

出席報告 吉田出席委員長

正会員 44 名出席免除会員を除く会員 35 名中
 本日の例会は免除会員 3 名を含む 27 名出席率 71%
 前々回例会：特別例会出席率 100%

三川会員、近藤会員、清川会員、田口会員

結婚記念日：

黒田会員、原田
 会員、三浦一夫
 会員、三川会員、
 田守会員



幹事報告

伊藤幹事

* 理事役員会決定【5 月例会プログラム】

5 / 4 蕪島清掃 10：30 集合

5 / 9 お花見例会 12：30

5 / 16 環境保全委員会担当

5 / 23 会報委員会、国際平和資金委員会担当

5 / 30 次年度会長担当例会

* 地区協議会の案内が来ています。5 / 12 出席義務者の他、新会員、どなたでも参加自由です。

* 長生園便りが届いています。

* 南郷観光協会、植栽事業共催のお願い一口 2,000 円。青葉湖周辺、新井田川植樹。4 月 14 日 9：00 青葉湖集合です。

* 八戸緑化協会、緑の羽根募金協力依頼

* 一葉会より役員改選のお知らせと 5 / 26 の 50 周年式典のご連絡が届いています。

* 自衛隊より転勤の挨拶状

ニコニコ・ボックス 平光親睦委員

熊谷会長：久保田さん今日の担当例会よろしくお願ひします。

伊藤幹事：久保田委員長よろしくお願ひします。

村上会員：久保田委員長よろしくおねがいします。

久保田会員：本日広報担当です。よろしくお願ひします。

吉田会員：平光さん Happy Birthday

本人誕生：平光会員

奥様誕生祝：金田会員、清川会員

結婚記念日：黒田会員、田守会員、原田会員

広報・雑誌・IT委員会担当例会

久保田幸造委員長：

ニコニコ頂きどうもありがとうございます。広報担当ということで、主観を交えて・・・

ロータリーの広報はマニュアル通りで私達にはロータリーの友、クラブには会報があり希望者には印刷でそれ以外はネットで見ます。ロータリーの友は必ず購読のために配布されます。見る・見ないは別として広報誌の役割があります。出版物には新聞や本などがあります、広報出版物は団体向けのもので市の広報誌などがあり、ロータリーの友も売る目的ではありません。会員動向や方針を周知徹底し意思の統一を図るのが目的です。当クラブの会報は例会内容です。ロータリーの友はロータリーの歴史や会員相互のコミュニケーション、これによってクラブがどのようなものを行っているか把握でき、意志を高め結束を高める主旨の物で、その主旨がロータリーの友に書いてあります。ロータリーの友は一方向的に知らせるだけではなく投稿や意見などもあり、双方向する事で広報の意味も高めています。

先ほど会長が蕪島トイレの話をししました。観光課は知っているも他の課は知らないと・・・、韓国へ行くとロータリアンはPHFのバッチをつけてきますが、日本人は奥ゆかしく自分達のやった事を我々からは言い難いです。そこで広報などは外に向けて、折に触れてやれば、第三者的目線、ニュース的にやれば見せやすいのかなと思います。

つい批判的な物言いは私の悪い癖です。ロータリーの番組が放送されました。たまたまTVを点けたらやっていたのですが、大半の方はやっていた事も知りませんでした。もっと良い方法があると思います。ロータリーのコマーシャルであれば、週1回でも1年間だらだらと流すと意識が定着すると思います。昔、黒石の「バー・クロンボ」というTVCMは頻度は少なかったのですが1年もやり、今でも覚えています。今もあるのかなと思います。私だったらそのようなやり方をします。会員拡大やロータリーへの寄付、色々な活動をしていると周知すれば、我もとと言う人がいるかもしれませんが、東京とかは入りたくても入れないと言いますが、ローカルはそのような事はなく、そういう方面でもやるのが良いのかなと思います。

広報は企業の中では社内報を出したり、デスクロ



ジャー、経営内容を外部に分るように発行したり、病院が院内報を出すなどもそうです。先日見たある広報誌で、アルツハイマーは20年前から分っていると出ていました。アミノ云々、アセト云々等の量で分るとか、インシュリンが出やすい人がなりやすい等と書いてあり、豆知識となります。ある記事を見て、次々と見ていると人間ドックにも興味が出てきます。社員や組織に向けてもそうですが、広報誌は外部に向けて広報していくのも大事ですし、その必要もあると思います。

今はインターネット時代になりました。常時やっている人は？半分ぐらいですね。アドレス登録している人は？8割くらい？じゃあ良いですね。昔は4大メディアと言いつつ新聞、雑誌、TV、ラジオでした。最近は3大でTV、新聞、インターネットと変わってきました。メディアが変化してきたと言う事ですが、一番信用できるのはと言うと、新聞は不偏的意見や実績で信頼が置けます。次はテレビですが、番組によっては問題でニュース番組は別ですが、ワイドショーはニュースでなく作っています。次のインターネットは、最近ツイッター等は誹謗中傷があります。選挙もインターネット解禁！との話もありますが・・・。速報性から言うと、新聞は午前中の出来事、TVは1日が終わった出来事、インターネットはその時、と速報性があります。色々なメディアの特質を踏まえた上で色々な広報活動をして行くのも必要かと思えます。若い人は20~30分しか新聞を見ません。TVは1時間位、インターネットは2時間位見ると言われています。メディアの融合でTVとネットが融合されて、双方向性も確立されています。TVも映画などハードディスクが付いていて時間の制約がなくなってきました。ロータリーもメディアの特質を考えてやるべきかと思えます。

